

主旨	内容
地域での交流の促進	<p>こども食堂が、本来の目的にとどまらず、多文化、多世代の人たちが交流できる場となっていることを実感した。こうした場は大切だと思う。</p>
	<p>中心になっているのはカフェや食堂などの運営であっても、そこに集まってこられる方にさりげなく悩みを聞いたり、集まってこられる方たちのネットワークを作っていくことは可能であり、そうした取組は重要だと思う。</p>
	<p>必ず行かないといけないのではなく、自分の気持ちに応じてそこに行こうと思ったときに、誰でも受け入れてもらえる場所があることが大事。いろいろな居場所を作ることが大切。</p>
	<p>運営に当たっては、ネットワークが重要だということを改めて学んだ。支援者同士のネットワークはもちろん、周辺の住民の方や地域の方々とのつながりを作ることも大切である。</p>
	<p>外に向けてネットワークを広げていくということも重要である。</p>
	<p>地域とつながりを持つことが大切。</p>
	<p>スタッフの確保が課題</p>
	<p>それぞれのコミュニティの中で情報交換をすることも大事。</p>
情報提供	<p>外国籍市民も、どんどん日本のコミュニティに飛び込んでいくことが大事。</p>
支援 日本語学習	<p>太極拳教室に来ることによって、普段はなかなかふれ合いの機会がない近所の人たち同士がコミュニケーションが取れる。</p>
	<p>太極拳教室では、日本の情報提供などもしている。教室が情報交換の場となっている。</p>
	<p>言葉の問題は大きい。言葉ができないと、人と関わりたくないとなってしまう。</p>